

with
green

特集

心地よい住まいを叶えるために、リビングから眺められる緑あふれる庭や、おしゃれな観葉植物など、グリーンのある暮らしは理想のかたちのひとつでしょう。とはいえ、初めての家づくり同様に、初めての庭づくりも何からスタートすればいいのか、どんな観葉植物を選ぶといいのか分からないという方も少なくありません。そこで今回は、お庭と観葉植物にこだわりのある2組のお客様の暮らしをご紹介します。さらに初めての家庭菜園に役立つ、ハーブ栽培のプロによるアドバイスもぜひ参考にしてみてください。

C	A
	B
D	

- A ご主人が適切な手入れを行い、上手に花を咲かせている。
- B 天気の良い日にはウッドデッキで過ごす時間がお気に入り。
- C シンボルツリーは葉の形がかわいく、虫がつきにくいカツラの木に。
- D 洗面や浴室からもグリーンが眺められるように、坪庭を設けた。秋には、もみじが色づき季節を楽しめる。



室内からの眺望。「リビングやキッチンから庭を眺めるのが至福の時間」と奥様。

「森の中にあるような家で暮らしたい」というのが、都市部で生まれた育った奥様の夢でした。「木々があつて小さな花々が咲いて、雑草さえも活かせるような庭」をイメージしていたそうです。具体的に参考にしたのはインスタグラムの「#庭」の情報や、建築資材用のカタログに掲載されている庭の写真、庭が素敵な飲食店や雑貨屋など。移動中にかわいい庭のお店を見つけると、今の庭良かったね」と夫婦で共有していたそう。

日々話し合いを重ねるなかで、ご主人は、雑木の庭、奥様は、イングリッシュガーデン、が好みだと分かり、結局ふたりとも納得した植物

手入れについては、「ふと家の中から外を見たときに、あのお花がそろそろ手入れの時期だな」と気づく」と言い、方法は「YouTubeで調べるとのこと。毎日少しずつ行うことで無理なく楽しめるそう。季節ごとに花が咲き、枯れていく様子を見て、休日にホームセンターなどでこれから咲く花を購入。「満開のものより、苗の方が思い通りに育てられることが多い」のだとか。また、あるときはアウトレット品だった、花も葉も落ちたバラを手入れしたら翌年は花数が増えたそう。

だんだんと庭への理解も深まり、「土地の水はけが悪いから、水はけが良くないと育たない植物はNG」という学びも。それでも育てたい植物は、「鉢植えにして模様替えのよう」に庭のあちこちに移動させています。夜には庭をライトアップして眺めることも」と植物好きのご夫婦の楽しみ方を教えてくれました。

**家づくりと同時に
憧れの庭づくりを構想**

**日々、植物を愛でながら
心豊かに暮らしを楽しむ**



四季折々の暮らしを豊かにするガーデニング

family data

ご夫婦 + お子様2人

gardening story



スタート

家の完成直後、庭は更地。まずは「悉くからどんな風景が眺められたら幸せか」を考えることからスタート。



半年後

造園業の方に木市に連れて行っていただき、シンボルツリーなど、大きな木を植え始めた。



7カ月目以降

夫婦での庭づくりを本格的にスタート。木市で低木を探し、大きな木の隅りに植える。



3年目の現在

一見完成に見える庭だが、「目標の3割程度」とお客様。裏庭の果樹園化計画もあり、まだまだ進化中！